



築地中学校学校だより
つ い じ
築 地

胎内市立築地中学校
令和3年11月25日
NO. 8
文責：校長 伊東 寿明
学校だより作成委員会

読書の秋です (11月2日の全校朝会での校長講話)

読書の秋と言いますが、秋は夜が長く過ごしやすいことからこのように言われるようです。みなさん本は読みますか。

私は中学生の頃には、ほとんど本は読みませんでした。高校・大学・社会人となっても1年に4～5冊くらい、そのときに必要な本しか読みませんでした。ところが、10年ほど前に佐渡市に勤務したときに、船に乗っている時間がとても長く、その時間にするのがありませんでした。半年くらい過ぎた頃に、本でも読ようかと思い立ちました。はじめは、スピードも遅くなかなか進まなかったのですが、だんだん慣れてきた時には、1週間に2～3冊読むようになりました。ある作家さんの本が好きになりその方の書いた本を中心に、読み始めてから佐渡市に勤務している間の2年半で200冊ほど読みました。その後も年に30～40冊読むようになりました。

現在も好きな作家さんが本を出すと、いの一冊に読んでしまいます。また、いろいろな賞を取った本も読んでいます。やはり賞を取った本は、読みごたえがあって面白いです。

本を読むとどのような効果があるか調べてみました。「ストレス解消」「想像力が磨かれる」「能が活性化する」「仕事や日常のヒントがもらえる」「視野が広がる」「教養が磨かれる」「読解力が高まる」「知識が増える」「ボキャブラリーが増える」などでした。実際に私が本を読むようになってほぼ10年ですが、文字を読むスピードはとても速くなりました。文書もすぐに思い浮かぶようになりました。また、本に出てくる場面がその後の人生のシミュレーションとなる場合もあり、判断が速くなりました。

けれども、何かを得ようとして取り組むよりは、自分が好きなことの中に読書があれば良いと思っています。読書の好きな人と話をするのも楽しく、面白い本を教えてもらったり感想を言い合ったりすることもあります。

また、ある作家さんがこんなことを言っていました。「本は、10ページ読んで面白くなかったら、その本は読まない方がよい。また、途中で面白くなくなったら読むのをやめればよい。せっかく読むなら、面白いなあと思う本を読んだ方がよい。」と。私が10年前に本を読み始める前にその言葉を聞いていたので、この言葉は、読書への抵抗感を減らし、本を読み始めるきっかけになったと思います。

今年の念頭の決意で、1年で本を50冊読むという目標を立てました。一週間に1冊のペースです。3月まで良いペースでしたが、4月から半分のペースになってしまいました。テレビに少し負けてしまっているのです。私もメディアコントロールが必要です。秋から冬は、出かけることも減ると思うので、本をたくさん読もうと思います。

みなさんもぜひおもしろい本を読んでほしいと思います。東野圭吾さんは、ガリレオシリーズなど中学生でも楽しめる本がたくさんあり、おすすめです。以前勤めた学校で東野圭吾さんのガリレオシリーズを入れてもらったら、中学生のファンがたくさんできました。ぜひ、手に取ってとにかく10ページ読んでみてください。

生徒会 球技大会

11月1日（月） 5・6校時

生活応援委員会の企画による球技大会（バレーボール）が行われました。全学年縦割りの男女混合チームで試合を行いました。勝負よりも全校生徒が仲良く一緒に楽しむことをねらいとしました。和やかな雰囲気の中で、全校生徒と教職員が楽しい一時を過ごすことができました。



全校生徒が楽しい時間を過ごしました

応援委員長

今年の球技大会は、全員が全力で楽しめていたので、とてもよかったと思います。また、バレーボール部の皆さんや生活応援委員の協力でスムーズに進行することができ、とてもありがたく思っています。来年の球技大会もよい大会になることを願っています。全校生徒の皆さん、協力していただき、ありがとうございました。

1年 認知症サポーター養成講座

11月5日（金）

1年生が「福祉」をテーマとして、「認知症サポーター養成講座」を受講しました。「地域包括支援センターみらい」の皆様から指導していただきました。

はじめに、認知症の症状や対応の仕方について講義を受けました。その後、支援センターの方による寸劇を見て、認知症への理解を深めました。数名の生徒が寸劇に参加し、適切な接し方を学びました。

今後は高齢者擬似体験を行い、高齢者施設の役割等についても学ぶことにしています。



生徒も寸劇に参加し認知症への、理解を深めました

1年生の感想 『認知症サポーター養成講座を受講して』

今回の授業を受けて、認知症にはいろいろな症状があることが分かりました。しかし、日々の優しい声がけや接し方で、症状がよくなることを学びました。私は、日頃から、困っている人には優しく接して、すぐに助けることができるようにしたいと思いました。

認知症は、一人一人症状が違いますが、苦しんでいることには変わりありません。苦しいことを一人で抱え込ませないように、助け合いの気持ちを大切に生活していきたいです。ありがとうございました。

第3回コミュニティ・スクール委員会

11月4日に第3回コミュニティ・スクール委員会が築地中学校で開催されました。

はじめに中学校の授業を参観していただき、3つの重点活動である「村松浜海岸清掃」「保小中合同あいさつ運動」「いじめ見逃しゼロスクール集会」について、グループ協議を行いました。そして各グループから出された意見を共有しました。この3つの重点活動は、築地小学校・中学校コミュニティ・スクールの土台となるものです。



グループ協議と発表



12月1日（水）から3月2日（水）まで、冬期スクールバスを運行いたします。市教育委員会と協議の結果、今年度は下記の箇所を停留所として使用することになりました。地域の皆様には、いつもご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

なお、生徒の安全確保の観点から、バスの運行期間中は、バスを利用しない生徒は徒歩となり、自転車の利用はできません。お気づきの点がございましたら、中学校までご連絡ください。詳しくは、生徒を通じて配付する文書をご覧ください。

①北成田バス停	②宮川バス停	③竹島集会所前	④上荅実バス停
⑤高橋バス停	⑥堀口バス停	⑦村松浜バス停	⑧JX前
⑨中村浜バス停	⑩笹口浜バス停	⑪鴻ノ巣神社前	⑫宮瀬集会所前
⑬山王入口	※バス停は「旧バス停」となります。		

保護者懇談会

期日 12月14日（火）～17日（金）
時間 14:00～16:30
場所 各教室



3年生は三者面談となります。学校での様子や冬休みの生活、進路等について懇談いたします。よろしくお願いいたします。

学校生活のスナップⅠ



3年生の体育の授業で、空手と合気道の講師をお招きし、講義と実演、基本的な形の練習を行いました。講師の見事な演舞と技に感動しました。



市の「あいさつキャラバン隊」が来校しました。胎内市では毎月10日を「あいさつの日」としています。これからも、さわやかなあいさつを交わしたいものです。



2年生のPTA行事が行われ、生徒と保護者がバレーボールとドッジボールを楽しみました。保護者の皆様ありがとうございました。

栄光の記録

- 北蒲原歯科医師会 「歯・口の健康啓発標語コンクール」
金賞 2年生 「マスク下 それでも輝く 歯と笑顔」
銀賞 2年生 「つなげよう 未来へキレイな 歯と自分」
※兩名とも、標語が県大会に送られ、佳作となりました。
- 全国中学生人権作文コンテスト新発田大会
優良賞 2年生 「生きる価値」

学校生活のスナップⅡ



生徒会主催
「ハロイン全校レク」



1年：歯肉炎予防教室
(鏡を見ながらブラッシング)



3年：書写の時間
(地域のボランティアの方においでいただきました)

部活動の活動場所について（お知らせ）

冬期間の部活動につきましては、これまで築地中学校体育館と旧築地小学校体育館を使用しておりましたが、部活動数の減少により、築地中学校体育館を割り当てにより使用することといたしました。

体育館を二つに分け、バスケットボール部とソフトテニス部、そして保護者会によるバレーボール活動が割り当てに従って活動いたします。